

一般社団法人 埼玉私保連



広報

No.163

R8.3月

発行

天高く 犬走る春



第52回 定期総会のお知らせ

5月28日(木)埼玉会館7B会議室 受付13時15分～

同日 研修会開催「こども性暴力防止法に向けての手順と対策」

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

研修報告

子どもの食事・どうかわればいいのか？ 発達が緩やかな子どもの食事の提供について

令和8年2月27日(金) 大宮ソニックスシティ

講師 太田 百合子氏 (参加者67名)

『食べることは、生きること』
食べることは、発達、コミュニケーション、社会性を通してその人の人格形成にも広がり大きな影響を与えるのではないかと感じた研修会でした。

毎年、給食従事者の先生を対象に研修会を実施してきましたが、今年は保育士や子どもに関わる先生も参加できるようにシンプルに「子どもの食事」に焦点を当てた研修会としました。離乳食や幼児食をはじめ、偏食の子どもや発達が緩やかな子どもの食について講義を受け、さらに他園の先生方と情報交換の時間を持つなどあつという間の2時間でした。

講師は小児保健クリニックでの栄養相談、離乳食講座や指導者向けの講演会企画を担当するなど幅広く活躍され、現在は東洋大学非常勤講師の太田百合子先生をお招きしました。先生のモットーである、わかりやすい栄養相談の内容を含めた資料を基に講義が開始されました。

参加者の先生方から

○とてもわかりやすかった

○食事が与える影響と共に発達を理解した食事の提供と援助の大切さを学んだ

○講義の進め方がとてもよく、ディスカッションが多かったことで他園の先生方との交流ができた

○他園との情報交換がとても役立つなど

明日からすぐに役立つ研修会になったとアンケートに多くの記載がありました。

『発達がゆるやかとは？』同年齢の平均と比べて成長スピードがゆっくりであることを確認しつつ、「食べる」と発達の連動」が大きく関わっていることを再確認することができました。運動機能と食事が大きな関わりを持つていることは知っていても、姿勢を正して座れないと食具への移行が困難になっていたり、口腔機能や手先の操作性などの感覚機能が食事（離乳食も

含む）にも影響することを丁寧に解説して頂き、改めて順序に従った発達が重要である事やその発達を大人（保育園関係者・保護者）が援助することの重要性を先生はお話されていきました。太田先生のお話にもありましたが、食事提供を行う中で「食事のPDCAサイクル」を活用し子どもの食事について保育士が互いに子どもの成長について話し合いを行いながら専門性を学び高めつつ、保護者に伝えることが必要ですと話されていました。その際に栄養状況の把握をするために「乳児身体発育曲線」を利用する事を提案されて



いたので、自園でも給食会議などで取り入れてみたいと思っております。

保育園の先生は日々子どもの食（離乳食・偏食・咀嚼を含む）食事の大切さ・子どもの発達と向き合っていることを認識し、保護者へ伝える役割が本来の子育て支援であり、その重要性は子どもの育ちや発達に大きな影響があると痛感する研修となりました。参加者の皆さんもとても熱心に講義を聞き、数回に分けてのグループディスカッション（ワーク）では会場内が和気あいあいとなり、各園の取り組みを伝えながら時に笑い声もあり情報交換を兼ねた良き時間となったようです。

幅広く食に関わり、乳幼児の食事に精通する太田先生ならではの「離乳食の進め方のめやす」の講義では授乳・離乳の支援ガイドが10年毎の見直しとなっていることや離乳食についての細かな目安や対応、食材の硬さや柔らかさの事例とともに噛む力は成人の5分の1程度の為の工夫についても説明を頂き、子どもの手づかみ食べの推奨を説明されました。手づかみ食べをしっかりと行うことで食具へ

の移行に繋がることは、保育士は理解していても家庭に戻るとなかなか実践できないことがあります。この温度差が箸への移行に問題を生じさせることがあり、3〜4歳に箸を持ちたがるようになった時に上達した状態で保持する事が困難になる問題に繋がることでした。

家庭支援の面では「咀嚼機能を発達させて食べたい気持ちを育てること」が重要であり、乳幼児の食を通してめざす姿の目標として、最もよく生き、かつ、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本としての「食を営む力」の育成を目指し、その基礎を培うことが必要であると話していました。それは・・・お腹がペコペコではない現代だから。このことから、期待する子ども像として「食と健康」「料理と食」「食と人間関係」「食と文化」「いのちの育ちと食」の観点から

- ①お腹がすぐリズムのもてる子どもに
- ②食べ物を話題にする子どもに
- ③食べたいもの、好きなものが増える子どもに
- ④食事づくり、準備にかかわる子どもに

⑤一緒に食べたい人がいる子どもに
保育園生活を通して大切に取組んでいる光景がここにあるのではないのでしょうか。

講義の後半は子どもの食の提供の問題に触れ、「咀嚼機能を発達させ食べたい気持ちを育てる」「自分で食べる能力を育てる」「口にためる、吸い食べ」「少量」「噛めない子、噛まない子」の対応や子どもの特性に応じた対応のヒントを頂き、日頃からのコミュニケーションを大切にしながら医療機関との連携を図り、保育士との信頼関係が大きく影響することを指摘されました。また感覚異常があることが多いので、食材はカリカリ食が好きなお子が多いとアドバイスを貰いました。

障がい児の食の対応については、参加者の方からもっと詳細な対応を知りたいとの声がありました。

今後の企画の中に再度取り組んでいきたいと思えます。

たくさんの先生方にご参加いただきました、ありがとうございます。

研修部長 多田



【 めだかの学校 】

茶木 滋 作詞
中田 喜直 作曲

♩ = 108

めだかの がっこうは かわの なか
そつとのぞいて みてごらん そつとのぞいて
みてごらん みんなでおゆうぎ しているよ

♪ 歌詞のポイント

この曲の歌詞は3番までありますが、それぞれ情景がすぐに浮かぶような歌詞ですね。1番の「そつとのぞいてみてごらん」は、めだかをびっくりさせないために音を立てずに川の中を覗き込むような感じで、優しく丁寧に歌いましょう。「そ(So)のSの部分に時間をかけて発音すると、その雰囲気が出ます。2番の「みんなで元気に遊んでる」は活動的な様子が想像できますね。1番の「静」に対して2番は「動」。先生方と園児たちが同じ輪の中で動きながら歌って、めだか達が元気に遊んでいる表現を楽しむのも良いと思います。3番の「嬉しそう」は、まず先生方が可愛い子どもたちを見て嬉しそうに微笑みながら歌ってくださいね。先生も生徒もみんな仲良しで、川の中で気持ちよく過ごしている様子が伝わるでしょう。「水に流れてつーいつい」は、まっすぐにめだか達が泳いでいく様子が表れていますね。実際にめだかになつたつもりで、まっすぐに泳ぐジェスチャーをしながらリズムに合わせて歌うと楽しいでしょう。幼児期の歌に身体

表現はとても有効だと思えます。体が動けば自然に心も動いてきますね。

♪ メロディーのポイント

「そつとのぞいてみてごらん」の部分は、2回同じ歌詞が使われていてメロディーも同じですね。ここでは2回目をエコーのようにして強弱を工夫しましょう。楽譜にもあるように、1回目を強めにして2回目は弱めに歌うと効果的です。ここで全体を2つのグループに分けて、1回目と2回目のメロディーを分担して歌うのも効果的だと思います。そして最初のフレーズ「めだかの学校は」と最後のフレーズ「みんなで」は、全員で声をそろえて楽しく歌いましょう。

筆者プロフィール 佐藤ユカリ

武蔵野音楽大学声楽学科卒業。オペラ「ラ・ファヴォリタ」「修道女アンジェリカ」「魔笛」に出演。東京板橋の音楽団体「ゲルッポミノリート」に所属し、コンサート活動を行う。深谷カルチャー教室音楽講師。深谷市音楽連絡協議会会員。元中学校音楽教師。

【 春の小川 】

作詞：高野 辰之

作曲：岡野 貞一

♩=104

は — る の お が わ は さ ら さ ら い く よ
 は — る の お が わ は さ ら さ ら い く よ

き — し の す み れ や れ ん げ の は な れ に
 え — び や す め だ か や こ ぶ な の む な れ に

す — が た やい さし く い ろ う つ く し く
 きよ — がう も やい ちに ち ひ な う た で およ き

さ — い て い る ね と さ さ さ や き な が ら
 あ — そ べ あ そ べ と さ さ や き な が ら

♪ 子 ど も と う た お う ♪

♪ 歌詞のポイント
 日本の自然豊かな春の風景が美しく表現されています。豊かな色彩が目には浮かびますね。歌詞のまとまりは、すべて7文字（例・はるのおがわは）で成り立っている。

春になり色とりどりの花が咲き始め、辺りの景色も華やいできましたね。今回は【春の小川】を取り上げました。この曲を作詞した高野辰之さん、作曲した岡野貞一さんのお二人は、日本でよく知られている唱歌を他にも作っています。お二人が一緒に作られた曲は【春が来た】【朧月夜】【紅葉】【故郷】です。いずれも日本の四季を彩り豊かに表現した歌詞で、とても歌いやすいメロディーです。これらの曲はこれからも歌い継いでいきたい曲ですね。

ます。ここにも、限られた文字数の中で情景を表現する日本語の素晴らしさを感じ取ることが出来ます。ここで出てくるオノマトペは△さらさら▽です。小川が流れている情景を頭に浮かべながら、優しく表現できると良いですね。

また、「はるのおがわは」の△わ▽と△は▽の部分は、発音では両方とも△Wa（わ）▽になります。「おがわは」の△は▽は助詞になるので、△わ▽より軽く発音する必要があります。美しい日本語を子どもたちにも伝えるためにも、使い分けて発音してください。特に歌う時はどちらも同じドの音なので、△は▽の方が強くないように意識すると良いです。

♪リズムのポイント

この曲はすべて4分音符で書かれています。リズムが一定なので、子どもたちにとって歌いやすい曲ですね。一定のリズムによって、水がよどみなく穏やかに流れる様子を表しています。川幅が狭くちよろちよろした流れならもっと細かい音符になるなど、川の状況によって使う音符は変わったりします。

また各フレーズの最後に4分休符が表れます。この休符は、小川のほとりを歩きながらふと立ち止まって周りの景色を眺めているようです。すみれやれんげの花、えびやめだかやこぶなを見つけた喜びがそこにはあるような気がします。岸辺に咲く花も川の中にいる魚も、それを愛でる人も、春を楽しむ様子が感じ取れますね。

♪メロディーのポイント

楽譜は4つのフレーズでできています。1〜4までのフレーズの中で、曲の山

は第3フレーズにあります。

3小節目にかけて徐々に音が上がって、1番の「色美しく」2番の「日向で泳ぎ」の部分で一番盛り上がります。美しく花が咲いている様子や、太陽を浴びて気持ちよく泳ぐ様子を想像してみましよう。自然に心と体が広がるようになっておもいます。

♪表現の工夫

○効果音

△小川のせせらぎ▽などの水の流れる音を歌う前に聞かせるのも効果的だと思います。その音を前奏として使ってみるのも良いでしょう。臨場感があり、曲のイメージもしやすくなります。

○お絵描き

初めて教える時に、ゆっくり歌いながら絵を描いてみるのも面白い試みだと思います。△小川・すみれ・れんげ・えび・めだか・こぶな▽

などが次々に白い紙に現れて、曲が進むごとに春の景色ができていくのも楽しいですね。みんなで色塗りをすれば、春の絵のできあがり。

○身体表現

川の流れを手で表現する（横に滑らかに動かす）、すみれやれんげの花を見つめる、えびやめだかやこぶなが泳ぐのをのぞく、そのような仕草を取り入れても良いですね。

♪伴奏のポイント

この曲は4分の4拍子で、1拍ごとに曲が進みます。ここで気を付けたいのは、一音一音が独立しすぎて流れがなくなってしまうことです。なめらかに音をつなげて、横の流れを大切にしてください。音符は4分音符ですべて同じ形で表されていますが、歌詞には助詞を強くしないなどの配慮があります。ぜひ伴奏の楽器でもそのことを意識しまし

よう。そうすることで音楽に濃淡が生まれ、その心配りが豊かな人間性を育むことに繋がっていくと思います。

筆者プロフィール 佐藤ユカリ

武蔵野音楽大学声楽学科卒業。オペラ「ラ・ファヴオリータ」「修道女アンジェリカ」「魔笛」に出演。東京板橋の音楽団体『グルッポミノリート』に所属し、コンサート活動を行う。深谷カルチャー教室音楽講師。深谷市音楽連絡協議会会員。元・中学校音楽教師。

事務局 (一社)埼玉県私立保育園連盟

〒363-0015 桶川市南2-7-13

桶川中央マンション2F

TEL 048(772)8623

FAX 048(772)8635

[全私保連推奨] 各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間 (中途加入可能)

Web
加入
可能

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険 (学校契約団体傷害保険)」「職員団体傷害保険 (総合生活保険)」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間 (中途加入可能)

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りに加えて、学校からの貸出タブレットを含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL : 03-3865-3881
FAX : 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL : 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・社会役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険 (レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険 (傷害保険) の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款になりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。



公益社団法人全国私立保育連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨 (総代理店)



きっずノート

「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・登録者数無制限

すべての機能使い放題 /

月額 5,500円 (税込)

無料体験実施中!

お申し込みは
コチラ



ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL 03-3865-3886